

奨学金の留学生活

こんにちは、中部学院大学短期大学部社会福祉学科二年生のミンカンゾーです。留学生生活には本当に大変な事がたくさんあります。まずは勉強です。厳しい勉強に私たちはついていけないといけません。そのため、日本人が頑張るより二倍三倍もっと頑張らなければなりません。普段の平日にはほとんど毎日学校があるのでゆっくりと時間をかけて勉強をする事が出来ません。土曜日と日曜日に勉強しようと思っても一週間にこの二日だけアルバイトに行けるのでゆっくり勉強する時間や休みの日はないくらいです。

一週間に二日くらいだけアルバイト出来るので、毎月の収入も少ないです。そして、留学生にはアルバイトの出来る時間の制限があるのでそれもしっかり守らないといけません。普段なら一週間に28時間アルバイトをする事が出来て、夏休みとか冬休みなど長い休みの時にはアルバイトは40時間出来ます。毎月の収入は家賃を払ったら自分の手にはなにも残らないことが多いです。そのため、毎月の食費や交通費などのためには大学からもらった奨学金を使わなければなりません。この奨学金をもらっているからこれまで元気で勉強にも少しでも時間をかける事が出来たのです。長い休みがある時はアルバイトがたくさんできるので収入も増え、この奨学金が余ることもあります。その時は、来月の分を分けたり、親の為に仕送りを送ったりすることが出来ます。

私たち留学生のために特別なチャンスがあります。それは大学からもらった奨学金については留学生は返さなくていいという事です。しかし、日本人の学生は奨学金をもらったとしても就職後は返さなければならないという事になっています。私たち留学生からするとこれは本当に助かります。もし私たちが就職してからこのもらった奨学金を返すとしたら本当に大変な事になります。私たちが就職したら親も私たちからの仕送りを期待していると思いますし、自分の兄弟の学費とかも私たちが支援をしなければならないからです。